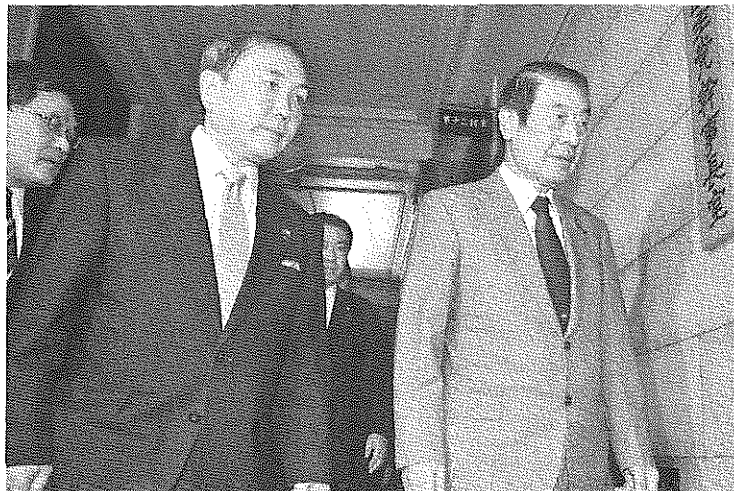


慎重に考える  
TPPに

# 参加表明回避に奔走

## 「党方針に背く」と強調

環太平洋経済連携協定 (TPP) 問題で、野田 佳彦首相の会見延期から一夜明けた11日、交渉参



TPP交渉参加へ慎重な対応を求め、民主党幹事長室へ入る山田会長  
(右)から慎重に考える会のメンバー (11日、国会で)

加に反対・慎重な与野党議員は、首相が交渉参加を表明しないよう、署名集めや申し入れに奔走した。

交渉参加に慎重な与野党議員らでつくる「TPPを慎重に考える会」(山田正彦会長)は11日、ぎりぎりの調整を続けた。会見前に首相が与野党議員に方針を説明し、「表明すべきではない」との切実な声を聞いてもらうよう、両院議員総会の開催に奔走。同日昼までに、140人を超す党所属国会議員の署名を集めた。「与野議員に説明がないまま、記者会見をするのはおかしい」。興石東

幹事長に開催を求める議員署名を渡し終えた後、山田会長は記者団にそう訴えた。

山田会長と議員10人が署名を渡したのは午後2時半。国会内の民主党幹事長室で、樽床伸二幹事長代行とともに対応した。興石幹事長は「平日で140人超の署名が集まったことは重く受け止めている」と述べた。しかし、総会開催への具体的な言及はなかった。

して党所属国会議員に呼び掛けた。出先から署名を送って協力する議員もおり、午後1時すぎに署名は140人を超え、要請に必要な「党所属国会議員の3分の1以上」という党規定を満たした。署名提出に先立ち、山田会長は昼の民放テレビ番組に出演。首相が交渉

入れ書を受け取った。新妻副本部長は遅れを謝罪し、支払い時期を来週中には連絡すると答えた。

新妻副本部長は「予期せぬ諸課題に多くの時間を費やすことになり遅れ

参加を表明した場合、「若い議員には離党を口にする人も出ている」と話し、反対議員の思いの強さを印象付けた。「慎重に判断を」とした党経

濟連携プロジェクトチーム(PPT)の提言を踏まえ、「交渉参加の表明は」政権を支える党の方針に背くことにもなる」と強く指摘した。

## 参加反対申し入れ 官房長官に 野党各党

自民、公明など野党各党は11日、TPP交渉参加問題で政府に対し、アジア太平洋経済協力会議(APEC)首脳会議で交渉参加表明しないよう、藤村修官房長官に申し入れ書を提出。その後、自民党総合農政・貿易調査会の加藤紘一会長は記者団に「民主党は党内の半分以上が慎重、反対派だ。これで交渉参加

を決めることが、民主主義としてあっていいのか」と、政府の前のめり姿勢に不快感を示した。申し入れ書は自公両党のほか、共産、社民、たちあがれ日本、新党改革が連名で提出した。

同日の衆参両院集中審議での首相や閣僚の答弁を「逃げの姿勢」と批判し、国民への説明、関税撤廃などに伴う国内対策の不明確さを指摘し、反対姿勢を示した。申し入れには、加藤会長のほか、自民党TPP参加の即時撤回を求める会の森山裕会長、保利耕輔元政調会長、岸田文雄国対委員長、山田俊男農林部会長、赤澤亮正政調会長補佐が出席。公明党の西博義政調会長代理ら、各党代表者が出席した。